

回収物重量をその場で計量！高い作業性を実現！

新型計量装置付ごみ収集車「シャフト式 スケールパッカー®」を発売

極東開発工業株式会社（本社：兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号 社長：布原 達也 特装車事業、環境事業、パーキング事業）はこのたび、回収物重量をその場で計量することが可能な計量装置付ごみ収集車「スケールパッカー」の新たなラインナップとして、新型ロードセル（計量装置）を搭載した「シャフト式 スケールパッカー」を、3.5t車級プレス式ごみ収集車「プレスパック®」向けに設定し、2022年7月26日より発売いたします。

「スケールパッカー」は、国内初（当社調べ）の計量装置付きごみ収集車として当社が2002年より発売しており、廃棄物管理の見える化などのメリットによりご好評をいただいております。

今回新たに開発した「シャフト式 スケールパッカー」は、新型ロードセルの採用により、計量装置無しの標準車と同等の車両全高・投入口地上高・積載容積を実現し、作業性が大幅に向上したほか、従来対応できなかった機種への架装を可能としました。

カーボンニュートラルの実現に向けた環境配慮への意識の高まりにお応えする、新しい計量装置付ごみ収集車です。

極東開発グループでは、今後もお客様のニーズに沿った製品ラインナップを展開することにより、特装車事業の強化を図ってまいります。



新型計量装置付ごみ収集車「シャフト式 スケールパッカー」

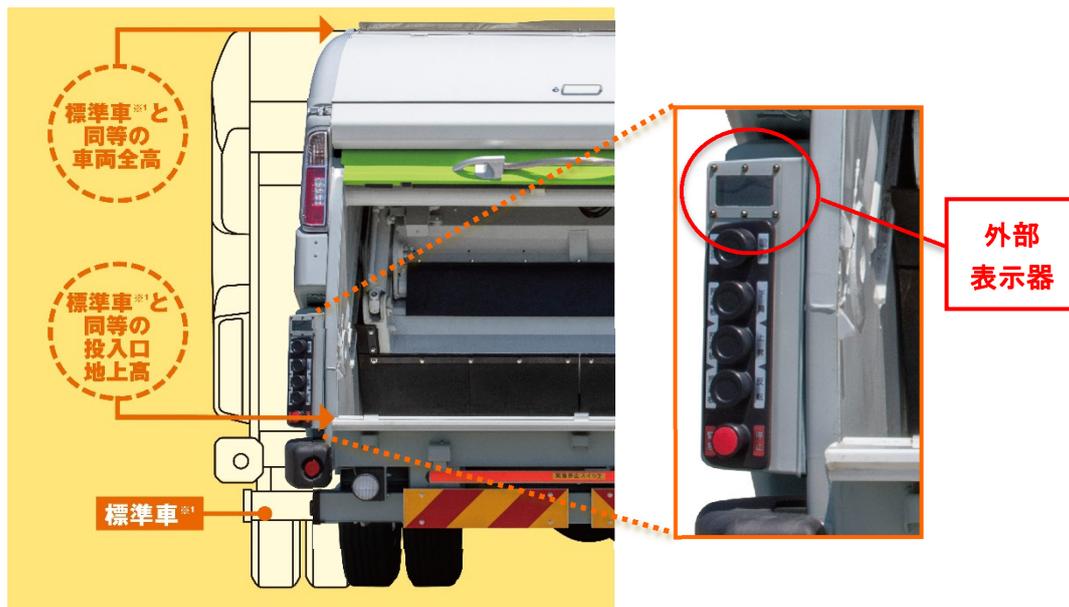
（3.5t車級プレスパック GB71-230（ボデー容積7.1 m³））

「シャフト式 スケールパッカー®」の特徴

1. 高い作業性を実現

新型ロードセルの採用により、計量装置無しの標準車と同等の投入口地上高・車両全高・積載容積を確保しました。これにより、標準車と変わらない感覚でストレスフリーな積み込み作業を実現したほか、従来対応できなかった機種への架装を可能としました。

また、高さ制限のある場所での作業性を確保するとともに、ごみ収集車のデザインを損ないません。



標準車との比較

(※1. 計量装置無しの標準車)

2. 回収物重量をその場でまるごと計量

積み込みした回収物の重量をその場で計量することが可能なため、様々な回収形態に対応します。

《回収物計量の4つのメリット》

①ごみの回収情報を知ることができる情報の管理・活用

回収物の重量、日時などの情報を管理できます。

その情報を、ごみ減量の推進活動に活用することが可能です。

②回収場所でごみ重量を表示できる情報開示

回収物の重量をその場で、正確な数値で示すことができるので、店舗や事業所、自治体、地域の皆様との信頼関係が高まります。

③回収物の重量をまるごと計量できることによる過積載の防止

ボデー内の回収物の重量をまるごと計量できるので、ごみ収集車による回収の際も過積載の心配がなく、安心して作業することができます。

④顧客別の積載重量がわかる取引価格の明確化

お客様ごとの排出ごみ重量を正確に計量できるので、それぞれの取引価格を明示することができます。



3. オプション価格（希望小売価格、消費税抜き）

300 万円

《ご参考》 3.5t 車級プレスパック® 本体販売価格例

GB71-230 （ボデー容積 7.1 m³）

545 万円

GB83-230H （ボデー容積 8.3 m³・高容積型）

593 万円

（希望小売価格、シャン・消費税抜き）

4. 販売目標台数

30 台 （年間）

<広報お問合せ先>

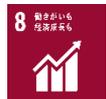
極東開発工業株式会社 総務部 総務課

〒663-8545 兵庫県西宮市甲子園口6丁目1番45号

電話 (0798) 66-1000 F A X (0798) 66-8156

ホームページアドレス <https://www.kyokuto.com/>

※製品のご商談に関するお問い合わせにつきましては、お近くの営業所まで連絡いただきますようお願い申し上げます。



極東開発グループは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。